



SUENAGA Group
Challenge and Change

SUENAGA Group

X meeting 2025

グループの管理職を中心に年1回集まるX meeting。
2025年10月3日は今まで分科会で活躍したメンバーも参加し、
総勢約170名で開催されました。



社長からのメッセージ

皆さんの挑戦が SUENAGA Groupの未来

グループの新しい動画について

「挑戦って、自分を楽しくしてくれる。かも？」
今回のキャッチコピーは、挑戦って、苦しいことや辛いことばかりではない。一歩踏み出すことで、自分自身を、そして日々の生活を、前向きで楽しいものに変えることができる。私たち一人ひとりの挑戦が、SUENAGA Groupを動かす原動力になっていることを思い出させてくれる一言ではないでしょうか。

グループ発足から5年間を振り返る

グループ発足当時から私たちが大切にしてきたのは、グループのDNAです。このDNAを基盤に、私たちはグループの結束力を高め、刺激しあい、着実に成長してきたと思います。この5年間で、私たちは社会に多くの新しい価値を生み出してきました。積極的なブランディングの成果もあり、SUENAGA Groupの名前も社会に少しずつ浸透してきたように思います。もし、この5年間、変化を避け、新しいことに挑戦していなければ、何も生みだせず、SUENAGA Groupらしい楽しさや明るさ、前向きな流れを生み出すことはできなかったはずで

グループ連携の礎となった各分科会の存在

これまでグループの持続的な成長を支えてくれたのが、各分科会です。分科会の活動は、会社間の垣根を越えたコミュニケーションを生み出し、特にTOCH HOLDINGSへの管理部門集約をスムーズに進めるきっかけとなりました。分科会メンバーの皆さん、本当にありがとうございました。通常業務もある中で、皆さんが分科会活動に力を注いでくれたからこそ、グループの連携が進み、私たちは大きく前進することができました。AO、RO、DOについては、TOCH HOLDINGSに引き継がれ、これからは新たなステージを迎えます。今後は、TOCH HOLDINGSに集約された管理部門が中心となり、グループ横断での採用活動、制度改定、システムの共通化など、より強力に「横串を刺す」活動を加速させていただきます。SOのメンバーは引き続き、各社に所属しながらCSR担当として、グループ全体の活動をさらに広げていってほしいと思いますので、よろしくお



新規事業創出やM&Aによるさらなるグループ拡大へ

私たちは今以上に「Challenge and Change」を実践していきます。既存事業の強化に加え、新規事業創出やM&Aによるグループの拡大、さらにエリアも岡山県から全国、そして海外展開へと、挑戦を進めていきます。グループ会社間の人事異動も活発になり、皆さんが会社や事業の垣根を越えて、多様なキャリアを築けるようにしていきます。皆さん一人ひとりの努力と働きが、SUENAGA Groupの挑戦のエネルギーとなり、新しい事業や海外展開といった大きなチャレンジを可能にしていきます。そして今後は、新たな仲間となった会社で、皆さんの力を発揮してもらう機会も増えてくると思います。

SUENAGA Groupの未来に向けて

新しいことに挑戦し、現状を変えていく。
そのチャレンジが、皆さんの成長の糧となり、SUENAGA Groupの未来を創ります。世の中は、生成AIの本格的な社会実装、人口減少、モビリティの多様化、そしてSDGsなど、大きな変化の波の中にいます。
この変化に臆することなく、私たちは自らも変わり続けなければなりません。ここにいる皆さんが率先して変化を起こす側に立ってくれると信じています。挑戦の連鎖が生まれてくれば、SUENAGA Group全体が、挑戦の笑顔であふれるはずで

代表 末長 一範

SUENAGA Groupでは地元岡山を拠点とするサッカークラブ『ファジアーノ岡山』を応援してまいりました。
グループ発足5周年を迎えるに当たりファジアーノ岡山オーナー 兼 東京大学特任教授 木村 正明様に特別記念講演をお願いしました。

特別記念講演 木村 正明様

私は「サッカーバカ」ではなく「岡山バカ」

生まれ育った岡山のために何ができるかを考え、解散寸前だったファジアーノ岡山を支える決意をしました。ゴールドマン・サックスを退職し、資金難のクラブを引き受けたのは「岡山の誇りを体現する存在を残したい」という想いからです。2006年にクラブの代表に就任し、企業を回っても会っていただけない日々が続く中、末長範彦会長にお会いし、熱意を伝えると「協力します」と言っていただきました。御社の支援をきっかけに他企業にも輪が広がり、現在は750社を超えるスポンサーに支えられています。最初に手を差し伸べてくださった末長会長への感謝は、生涯忘れません。
プロの世界では資金力が順位を左右します。だからこそ経営陣が努力し、地域の人気と信頼を高めることが大切です。Jリーグ専務理事時代にはデジタルマーケティングを導入し、QR入場で来場者を分析。初来場の8〜9割は「誰かに誘われたから」であると分かり、誘いたくなる仕組みづくりに注力しました。勝敗よりも選手や監督の人柄、会場の雰囲気



ファジアーノ岡山オーナー 兼 東京大学特任教授
木村 正明 様

1968年岡山市出身。岡山大学教育学部附属中学校、岡山朝日高校を経て、東京大学法学部を卒業。米国金融大手ゴールドマン・サックスに入社し、執行役員などを歴任。その後、2006年に退社し、ファジアーノ岡山スポーツクラブを創業、代表取締役としてクラブをリーグへと導いた。2018年に代表取締役を退任後、リーグ専務理事に就任。2022年4月に専務理事を退任し、ファジアーノ岡山のオーナーに復帰。さらに2023年6月より東京大学先端科学技術研究センター特任教授に就任、現在も幅広い分野で活躍を続けている。



乾杯のあいさつ

岡山土地倉庫株式会社・株式会社イドム物流専務取締役 真木 伸一さんによる乾杯の挨拶でスタートしました。



クイズ大会

豪華景品がもらえる各テーブル対抗のクイズ大会。テーブル内でよく話し合い、コミュニケーションを深めました。



閉会のあいさつ

トヨタ岡山ダナン プレジデント鈴木 志信さんによる閉会の挨拶で閉会となりました。



挑戦を楽しむからこそ、
私たちは未来を変えられる。

